

事例1 カウンセラーのうさこさん

～～開業初年で青色申告を始める～～

臨床心理士として勤務していたうさこさんは、2020年12月に退職し、2021年4月からカウンセラーとして独立しました。渋谷にオフィスを借り、近隣に挨拶を終えると、税務署へ「個人事業の開業届」と「所得税の青色申告承認申請書」を提出しました。

- 青色申告のために「簡単仕訳帳」で記帳することにし、左上に「2021」年と入力しました。以下、事例の入力です。

<通常の入出金>

- ① 開業前の3月に名刺と看板を作っている（合計で90,000円）。少額の開業費なので、簡便に全額を費用処理する。※（P2）
- ② 4月5日渋谷にレンタルオフィスを借りる契約をし、敷金200,000円と4月分の賃料100,000円、共益費50,000円を支払った。共益費には電気代、水道代、WiFi利用料等が含まれており、今後、賃料と共益費は毎月末に翌月分が引き落とされる。
- ③ ロフトへ行き、オフィスに必要な文房具や消耗品等を30,000円で購入した。
- ④ 西部テバートで手土産40,000円を購入し、近隣のレンタルオフィス関係者に挨拶回りした。
- ⑤ 4月は開店早々なのに、多数のお客さんがあって売上が400,000円になった。

月日	相談人数	売上	備考
4月7日	2	30,000	
4月9日	3	50,000	
4月10日	5	80,000	
4月13日	4	50,000	
4月20日	3	90,000	
4月21日	2	40,000	
4月25日	2	35,000	
4月30日	1	25,000	
合計		400,000	

この売上日計表は単純化していますが、実際の業務に合わせて工夫してください。

- ⑥ 4月分の交通費は自宅から渋谷までの電車代(往復)450円×20回=9,000円だった。

勘定科目	摘要	金額
508 交通費	京王バス, 京王 様	
	吉祥寺⇄吉祥寺⇄渋谷	9,000
	④450×2×10日	
	4/5 4/6 4/7 4/9 4/10	
	4/13 4/20 4/21 4/25 4/30	
	合計	9,000

- ⑦ 4月末に（翌月分の）賃料100,000円、共益費50,000円が引き落とされた。

2021年			簡単仕訳帳				メニュー表示		
伝票No.	月	日	摘要	コード	借方科目	金額	コード	貸方科目	金額
①	1	4	1		名刺、看板作成料(開業費用)	510	広告宣伝費	90,000	
②	2	4	5		レンタルオフィス敷金	127	敷金・保証金	200,000	
	3	4	5		〃 賃料4月分	520	地代家賃	100,000	
	4	4	5		〃 共益費4月分	522	管理費	50,000	
③	5	4	5		事務所消耗品等	514	消耗品費	30,000	
④	6	4	5		関係先への手土産代	511	接待交際費	40,000	
⑤	7	4	30		4月分売上(明細別紙)				401 売上(報酬) 400,000
⑥	8	4	30		4月分交通費(明細別紙)	508	旅費交通費	9,000	
⑦	9	4	30		レンタルオフィス賃料(5月分)	520	地代家賃	100,000	
	10	4	30		〃 共益費(5月分)	522	管理費	50,000	

2021年			
貸借対照表			
107 売掛金		204 未払金	
112 未収入金			
126 土地		301 事業主勘定	269,000
127 敷金・保証金	200,000	302 元入金	
128 その他投資		特別控除前利益	△69,000
合計	200,000	合計	200,000
損益計算書			
502 仕入		401 売上(報酬)	400,000
508 旅費交通費	9,000		
509 通信費			
510 広告宣伝費	90,000		
511 接待交際費	40,000		
514 消耗品費	30,000		
515 減価償却費			
520 地代家賃	200,000		
522 管理費	100,000		
530 雑費			
計	469,000		400,000
特別控除前利益	△69,000		
合計	400,000		400,000

※ 開業前に（開業のために）支出した費用は集計して、繰延資産（開業費）として計上し、開業後5年間均等又は任意で償却するのが原則です。（事例5（ラーメン大好きメンタツさん）を参照。）
ただし、少額の場合は①の簡便法でかまいません。

⑧ 5月以降の旅費交通費、賃料、共益費、売上は下記のとおりである。

	旅費交通費	賃料 (引落し)	共益費 (引落し)	売上
5月	12,000	100,000	50,000	500,000
6月	7,000	100,000	50,000	200,000
7月	8,000	100,000	50,000	300,000
8月	9,000	100,000	50,000	400,000
9月	9,000	100,000	50,000	500,000
10月	10,000	100,000	50,000	300,000
11月	8,000	100,000	50,000	400,000
12月	11,000	100,000	50,000	500,000

2021年		簡単仕訳帳					メニュー表示		
伝票No.	月	日	摘要	コード	借方科目	金額	コード	貸方科目	金額
1	4	1	名刺、看板作成料(開業費用)	510	広告宣伝費	90,000			
2	4	5	レンタルオフィス敷金	127	敷金・保証金	200,000			
10	4	30	〃 共益費(5月分)	522	管理費	50,000			
⑧ 11	5	31	5月分通勤電車代	508	旅費交通費	12,000			
12	5	31	賃料(6月分)引落し	520	地代家賃	100,000			
13	5	31	共益費(6月分)引落し	522	管理費	50,000			
14	5	31	5月分売上				401	売上(報酬)	500,000
15	6	30	6月分通勤電車代	508	旅費交通費	7,000			
16	6	30	賃料7月分引落し	520	地代家賃	100,000			
17	6	30	共益費7月分引落し	522	管理費	50,000			
18	6	30	6月分売上				401	売上(報酬)	200,000
39	12	31	12月分通勤電車代	508	旅費交通費	11,000			
40	12	31	賃料1月分引落し	520	地代家賃	100,000			
41	12	31	共益費1月分引落し	522	管理費	50,000			
42	12	31	12月分売上				401	売上(報酬)	500,000

損益計算書			
502	仕入		401 売上(報酬) 3,500,000
508	旅費交通費	83,000	
509	通信費		
510	広告宣伝費	90,000	
511	接待交際費	40,000	
514	消耗品費	30,000	
515	減価償却費		
520	地代家賃	1,000,000	
522	管理費	500,000	
530	雑費		
	計	1,743,000	3,500,000
	特別控除前利益	1,757,000	
	合計	3,500,000	3,500,000

<決算整理>

- ⑨ 12月の売り上げのうち50,000円はクレジットカード払いのため、入金は来年2月になる。(売掛金)
- ⑩ 11月に“魔法の鏡”(商品名)80,000円を購入し、クレジットカードで払っており、引落しは来年になるが処理していない(10万円未満の固定資産は費用処理してよい)。

2021年		簡単仕訳帳					メニュー表示			
伝票No.	月	日	摘要	コード	借方科目	金額	コード	貸方科目	金額	
1	4	1	名刺、看板作成料(開業費用)	510	広告宣伝費	90,000				
2	4	5	レンタルオフィス敷金	127	敷金・保証金	200,000				
~~~~~										
42	12	31	12月分売上				401	売上(報酬)	500,000	
⑨	43	12	31	売上のうち、クレジットカード分	107	売掛金	50,000			
⑩	44	12	31	魔法の鏡購入(クレジットC)	514	消耗品費	80,000	204	未払金	80,000

2021年			
貸借対照表			
107	売掛金	50,000	204 未払金 80,000
112	未収入金		
126	土地		301 事業主勘定 △1,507,000
127	敷金・保証金	200,000	302 元入金
128	その他投資		特別控除前利益 1,677,000
	合計	250,000	合計 250,000
損益計算書			
502	仕入		401 売上(報酬) 3,500,000
508	旅費交通費	83,000	
509	通信費		
510	広告宣伝費	90,000	
511	接待交際費	40,000	
514	消耗品費	110,000	
515	減価償却費		
520	地代家賃	1,000,000	
522	管理費	500,000	
530	雑費		
	計	1,823,000	3,500,000
	特別控除前利益	1,677,000	
	合計	3,500,000	3,500,000

これを国税庁サイト  
「確定申告書等作成コー  
ナー」へ入力します。

※ 短期の前払費用は出金ベースのままでよい。  
家賃や管理費は、契約に基づいて毎月定額を支払っているため、12月引落し分は翌年1月分の前払になっていますが、決算整理の必要はありません(毎年、継続する必要があります)。



- 国税庁サイト「確定申告書等作成コーナー」で作成した確定申告書は下記のとおりです。

青色 令和03年分の確定申告書B

住所：東京都渋谷区神南1-2-3レ  
ソラルオフィス神南  
料理のおいしいカウンスeling  
ウワサノウサコ  
うわさのうさこ

第一表 (令和二年分以降適用)

収入金額等	専業等 ①	350,000	専業等 ①	422,000
収入金額等	農働 ②		農働 ②	211,000
収入金額等	配当 ③		配当 ③	0
収入金額等	給与 ④		給与 ④	0
収入金額等	公的年金等 ⑤		公的年金等 ⑤	211,000
収入金額等	その他の収入 ⑥		その他の収入 ⑥	211,000
収入金額等	短期長期 ⑦		短期長期 ⑦	443
収入金額等	一時所得 ⑧		一時所得 ⑧	215,433
所得金額等	専業等 ①	102,700	専業等 ①	215,000
所得金額等	農働 ②		農働 ②	215,000
所得金額等	配当 ③		配当 ③	215,000
所得金額等	給与 ④		給与 ④	215,000
所得金額等	公的年金等 ⑤		公的年金等 ⑤	102,700
所得金額等	その他 ⑥		その他 ⑥	650,000
所得金額等	合計	102,700	合計	650,000
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除 ⑬	80,000	社会保険料控除 ⑬	
所得から差し引かれる金額	生命保険料控除 ⑭	45,000	生命保険料控除 ⑭	
所得から差し引かれる金額	地震保険料控除 ⑮	0	地震保険料控除 ⑮	
所得から差し引かれる金額	勤労学生・障害者控除 ⑯	0	勤労学生・障害者控除 ⑯	
所得から差し引かれる金額	扶養控除 ⑰	0	扶養控除 ⑰	
所得から差し引かれる金額	基礎控除 ⑱	480,000	基礎控除 ⑱	
所得から差し引かれる金額	⑲からの控除の合計	605,000	⑲からの控除の合計	
所得から差し引かれる金額	雑損控除 ㉑	0	雑損控除 ㉑	
所得から差し引かれる金額	医療費控除 ㉒		医療費控除 ㉒	
所得から差し引かれる金額	香附全控除 ㉓		香附全控除 ㉓	
所得から差し引かれる金額	合計	605,000	合計	

令和03年分の確定申告書B

住所：東京都渋谷区神南1-2-3レ  
ソラルオフィス神南  
料理のおいしいカウンスeling  
ウワサノウサコ  
うわさのうさこ

第一表 (令和二年分以降適用)

○ 保険料控除等に関する事項 (㉒~㉔)

医療保険料	80,000
介護保険料	80,000
健康保険料	30,000
厚生年金保険料	20,000

○ 本人に関する事項 (㉕~㉗)

○ 雑損控除に関する事項 (㉘)

○ 香附全控除に関する事項 (㉙)

○ 配偶者や親族に関する事項 (㉚)

○ 事業等従者に係る事項 (㉛)

○ 住民税・事業税に関する事項

○ 非課税所得など

<引継ぎ・繰越>

新年（2022）の仕訳帳を準備します。前年の簡単仕訳帳（又は原本）をコピーし、データを全部消去してから、左上に「2022」年と入力します。

⑪ 最初の入力は、前年貸借対照表の引継ぎ（繰越）です。

- 貸借対照表の項目は、借方・貸方に分けてそのまま入力します。
- 「事業主勘定」と「青色申告特別控除前利益」は「元入金」として入力します。

2022年		簡単仕訳帳						メニュー表示	
伝票No.	月	日	摘要	コード	借方科目	金額	コード	貸方科目	金額
⑪ 1	1	1	前年繰越	107	売掛金	50,000			
2	1	1	"	127	敷金・保証金	200,000			
3	1	1	"				204	未払金	80,000
4	1	1	"（事業主勘定）				302	元入金	-1,507,000
5	1	1	"（控除前利益）				302	元入金	1,677,000

2022年			
貸借対照表			
107	売掛金	50,000	204 未払金 80,000
112	未収入金		
126	土地		301 事業主勘定
127	敷金・保証金	200,000	302 元入金 170,000
128	その他投資		特別控除前利益
	合計	250,000	合計 250,000

これが国税庁サイトで入力する1月1日（期首）の貸借対照表です。

⑫ 短期間（1～2ヶ月）で精算される売掛金・未払金は振り戻します。

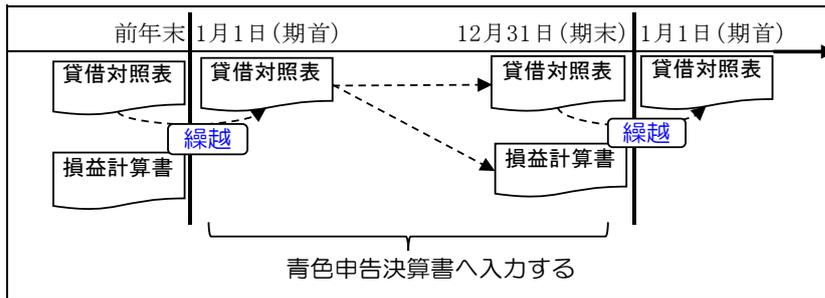
2022年		簡単仕訳帳						メニュー表示	
伝票No.	月	日	摘要	コード	借方科目	金額	コード	貸方科目	金額
1	1	1	前年繰越	107	売掛金	50,000			
2	1	1	"	127	敷金・保証金	200,000			
3	1	1	"				204	未払金	80,000
4	1	1	"（事業主勘定）				302	元入金	-1,507,000
5	1	1	"（控除前利益）				302	元入金	1,677,000
⑫ 6	1	1	振り戻し				107	売掛金	50,000
7	1	1	"	204	未払金	80,000			

2022年			
貸借対照表			
107	売掛金		204 未払金
112	未収入金		
126	土地		301 事業主勘定 30,000
127	敷金・保証金	200,000	302 元入金 170,000
128	その他投資		特別控除前利益
	合計	200,000	合計 200,000

- さあ、ここから新年の入力開始です。今年も稼ぎましょう！
  - 仕訳入力は入出金時が原則ですが、前年に計上していた売掛金 50,000 円が入金したときや、クレジットカードの 80,000 円が引き落とされたときには入力不要です。注意してください。

<貸借対照表の「1月1日（期首）」と「元入金」について>

- 毎年、前年末の貸借対照表を引き継いで（繰越して）、新年（翌年）用の貸借対照表を作ります。これが貸借対照表の「1月1日（期首）」です。
  - 青色申告決算書の貸借対照表には、「1月1日（期首）」と「12月31日（期末）」の2つを入力します。これは「期首・期末」というより、“前年対比”の意味があります。
  - 事例1のうさこさんや事例2のノリテツくんは、前年末の貸借対照表がないので入力不要ですが、翌年からは貸借対照表の「1月1日（期首）」が出てきます。



- 損益計算書の引継ぎ（繰越）は必要ありませんか？  
=>不要です。損益計算書は毎年、ゼロから始めます。

● 「元入金」って何ですか？

- 「期首の資産総額－期首の負債総額」という差額です。前年からの引継ぎ（繰越）のときに出てくる単なる差額で、それ以上の意味はありません。

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
科 目	1月1日(期首)	12月31日(期末)	科 目	1月1日(期首)	12月31日(期末)
			元 入 金	8,500,000	8,500,000
事 業 主 貸			青色申告特別控除 前の所得金額		1,033,000
合 計	8,500,000	7,333,000	合 計	8,500,000	7,333,000

(注)「元入金」は、「期首の資産の総額」から「期首の負債の総額」を差し引いて計算します。

(事例5 メンタツくんの例)

- 「元入金」とは、事業を開始したときに準備した資金ではありませんか？  
=>「元入金」本来の意味はそうだと思いますが、「簡単仕訳帳」では、これを入力（仕訳）しません（本文 P13、P54 参照）。仮に入力したとしても、「元入金」の金額は繰越すと翌年からは違ってくるので、本来の意味はなくなります。
- 白色申告からの移行（事例3）や開業費のあるケース（事例5）では、前年末に貸借対照表があったと見なせますから、（見なしで）繰越した資産と負債の差額を「元入金」としています。

